



生後4カ月のアンちゃんを囲んで家族で過ごす。土曜日の昼下がり。スタイリッシュなインテリアに合うよう、スリーパーは「ストック」のヘイジーグレーというカラーをセレクト。雲のモチーフは「コットン&スイーツ」。

撮影/川原崎宣喜 取材文/藤井そのこ デザイン/Persistent Yellow Orange 編集/太田彩子

気になる家族に会いに行く
「遊びに
おいでよ」が
似合う家
vol. 11

スタイリッシュモダンなインテリアが印象的なブリディーク邸。理想の住まいを叶えながら、2人の娘さんのおもちゃや愛用品がそこにスッと馴染む。モノ選び。は必見です。

- | | | |
|---|---|---|
| 5 | 3 | 1 |
| 6 | 4 | 2 |
- 4「山上木工」にオーダーした4.5mのダイニングテーブルを囲んで。キッチン機器は「ガゲナウ」で統一し、見た目も機能もスマートに。
 - 5 庭の植栽はすべて、同居する菜央さんのお父様が選び、手塩にかけている。このオリーブの木は、静岡県からやってきたものだそう。
 - 6「ポルトランドの夫の家で一族の写真を飾っているのを見て、我が家でも受け継ぎました」。トレイは「フォー グレース テーブルウェア」。
- 1 夫のシェーンさん特製・10種類の具材を和えたチョップドサラダが、家族の大好物。「ナッツの食感とカボチャの旨味がポイントです」。
 - 2 アンちゃんが寝ている午前中は穏やかな時間が流れる。クマのケットは「ヘビーシャワー」、ブランケットは「G.H.HURT&SON」。
 - 3 キッチン横に置いた大きなホワイトボードは、家族の1週間の予定や伝言を自由に書くスペースに。娘さんの工作を飾る場としても活用。

01 Family

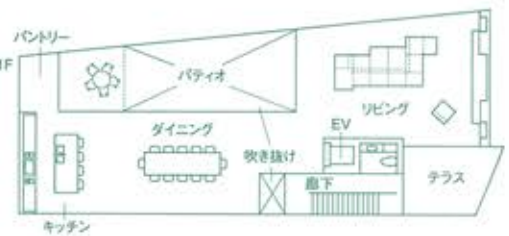
おおらかな空間に、 家族それぞれの「得意」を集めた家

長女のミアちゃんを妊娠中に構想を練り、昨年完成したブリディーク菜央さんの新居。ここで、家族4人と菜央さんのご両親の6人で暮らしている。都心の住宅街とは思えないほど開放的で、借景も緑豊か、おらかな建築が気持ちいい。リビングダイニングの天井高は約3m。天井を高く取りたいけれど、窓を規定外サイズにはしたくない。意図的に床に段差を設けたことで、既存の窓でもこの抜けが叶いました。インテリアや小物選びに至るまで、スタイリッシュモダンでキリッと洗練されたブリディーク邸。けれど菜央さんは意外にも「こだわりすぎなかったからこそ、まとまったのだと思います」と話す。「大人が4人いると、全員の価値観はちよつとずつ違いますが、我が家の場合、父はコスバを重視、母は利便性を、夫はシンボリックなインテリアにこだわり、私は娘たちの小物選びと工数をかけないことを考えました。効率、コスバ、インテリア……それぞれが得意なことを少しずつ寄せ集めてきたのがこの家なんです。こだわりすぎず、家族に委ねてしまえるのが、我が家のいいところですね」。

「長女を出産したときには、すぐに仕事に復帰したので、なかなか家にいることができませんでしたが、5月に次女を出産し育児をとった今、ようやくこの家を堪能しています。だからこそ気づいてしまったこともある(笑)。プロにお願いすれば素敵に解決するのかもしれませんが、みんなで作り上げていくのが、私たち家族には合っているのかな、と思います」。

ブリディーク邸 DATA

東京都渋谷区
6人家族(夫・妻・2歳の女子・4カ月の女子・妻の両親)
築1年
2016年に結婚。以前住んでいたマンションのテストを気に入り、同じ建築事務所「アーネストホーム」へ依頼。昨年、地下1階地上3階の新居が完成した。中庭を設け光を取り入れることが二人の条件だった。





02 Home



(右) 壁付けの棚は収納力を叶えながらも、すべてフローリングにすることで視覚的な「軽さ」を実現している。(左) 地下フロアから1階の吹き抜けに飾ったのは、お二人が大好きだという「トムディクソン」の「メルト ペンダントライト」。

- 6 リビングの一角に置いた「プラントイ」。環境に配慮した製作工程や子どもにとっても安心な素材を使用するブランド信念にも共感。遊び場としてはもちろん、おもちゃ類をここにまとめているので見た目もすっきり。
- 5 スモークピンクで統一したミアちゃんの部屋には、いじお手製のウォールシェルフが。奥の棚、机、椅子は「ポップル」のコロコロシリーズのアイボリーをセレクト。「転がして何通りにも使えるので便利です」。

- 4 自費期間中、地下駐車場の一角にワークスペースを造作したシエーンさん。まるで秘密基地のような場所ゆえ、ミアちゃんが遊びに来ることもしばしば(笑)。シリコンのライトは「ムート」。
- 3 寝室の一角をフォトスペースに。「フォトグラフアー-CHIHIROさん」にモノクロのマタニティフォトを撮ってもらいました。インテリアとの相性も抜群。飾り方まで提案してくれるんです。

- 2 リビングダイニングに面した中庭は採光のためにお願した場所。晴れた日にはテラス全体にタープをかけられるよう、「ノルディスク」のものを3枚頼んだ。「設置は夫と父のDIYなんです」。
- 1 「Living Divani」のソファを置いたリビングは、寝っ転がったり、長女のミアちゃんがトランポリンをしたり、家族が自然と集う場所。3mの天井高や大きな窓により、「抜け」が気持ちいい。

寝室から繋がるバスルームを設けたことで、家族だけのプライベート空間が完成。「ここだけは、私たち大人の使いやすいさを最優先して考えました。起きてからメイクまでの動線がスムーズです」。





▲ 「匠芸」のアニマルスツール



◀ 「生活の木」のオイルディフューザー

▼ 「フリッツ・ハンセン」の「イケバナベース」



- 1 — 「どう生けてもさまになる不思議な花器なんです。週1度、恵比寿の「ルーモアズ」から届くお花で葉央さんのお母様がしつらえを担当。
- 2 — ヨガ、寝かしつけ、お風呂のときなどに香りが欠かせないという葉央さん。お気に入りのはゼラニウム。タイマー付きで強弱も設定できるそう。
- 3 — 遊びにくる子どもたちに大人気という「コヨーテブラウン」と「パンピ」のアニマルスツール。「大人が座っても心地いいんですよ」。
- 4 — 「家に遊びに来た友人からも、よほどの物が聞かれます」。朝食のサラダ、フルーツ、和食まで幅広く使えるボウルは家族分揃えている。



▲ 京都「瑞光窯」の器



▲ 「ブナコ」のティッシュケース

- 5 — クレードル、ベビーチェア、ハイチェアの3通りで使えて、乳幼児期から約3歳まで対応できる優れたもの。超軽量のアルミフレーム仕様。
- 6 — 「インテリアにも馴染む上、立てても置けるので、寝室やキッチンもこれで統一しています」。スマートな佇まいながら温もりも感じる。
- 7 — 台所機器は夫・シェーンさんのこだわり。鍋をどこに置いてセンサーが反応する高機能で、温度調整やタイマーも自由に設定が可能。
- 8 — プリディック家の照明のほとんどが「トムディクソン」のもの。存在感が抜群で、スタイリッシュモダンな家の良いアクセントになる。



◀ 「トムディクソン」の「ビートテーブルライト」

▼ 「ヴァガロ」のスリーウェイ ベビーチェア



◀ 「ガケナウ」のIHクッキングヒーター(フルサーフェス)

この連載にご登場いただけるおうちを募集しています。ご家族やおうちの写真、どんな週末を過ごしているかなどをご明記の上、編集部までお送りください。スタッフが遊びに行かせていただきます！(お送りいただいた資料やお写真は返却できませんのでご了承ください) 〒112-8011 東京都文京区春日1-16-6 (株)光文社VERY編集部「遊びにおいでよ」係

03 Things

